

「(対談)病院の新築・建替え計画の プロジェクトマネジメント手法導入の有効性」

～新築・建替えは、医療のブランドを確立し、経営改善を実現する機会である～

< はじめに >

今回の対談は、これまで2回(No.9-11、9-14)のコンストラクション・マネジメント(以下CM)に関する執筆のまとめとして企画しました。

病院の新築・建替え時は、医療運営(ソフト部分) 建物(ハード部分)のそれぞれのマネジメントが重要となります。しかし、実務的にはそれら両方を一体的なプロジェクトとしてマネジメントすることが、新築・建替えを成功させる何よりも重要なファクターとなります。

そこで、今回の企画では、グリーンホスピタルサプライ株式会社と日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社との対談を実現しました。

医療運営の視点(前者)、建物の視点(後者)と、それぞれアプローチの異なるマネジメント業務を行っている中で、プロジェクトマネジメントの意義や手法から現在の実情や将来の展望まで幅広く対談して頂きました。

2009年8月28日

Healthcare note

(No.09-22)

編集主幹：

野村ヘルスケア・サポート&
アドバイザー株式会社
市川 剛志

野村證券株式会社
法人企画部

野村證券株式会社 法人企画部 〒100-8130 東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル

本資料に含まれる情報をもたらす一切の影響、本資料の内容に関する正確性、妥当性、法務上のコンプライアンス等につきましては、野村證券はその責を一切負いません。本資料中の記載内容における各種法令・規則等は随時改定されますので、あくまでも参考資料としてお取り扱いください。また、記載内容における法令・規則及び表現等の欠落・誤謬などにつきましては、野村證券はその責を一切負いません。本資料は、貴社が経営判断を行なうに際して参考となると考えられる情報の提供を目的としたものです。経営判断における最終意思決定は貴社自身で行われるものであり、野村證券はこれに対する意見または判断を表明するものではありません。本資料のご利用に際しては、弁護士、公認会計士等あらかじめその内容をご確認ください。